

【内閣府の取組】

＜沖縄産業イノベーション創出事業＞

沖縄力発見創造事業（内閣府政策統括官（沖縄政策担当）総括担当参事官室）

平成29年度概算要求額 0.6億円（新規）

事業概要・目的

- 企業誘致を積極的に行い、本土企業や海外企業に沖縄への投資・進出を促し、沖縄県の産業振興や雇用創出等、県民生活の豊かさ向上につなげることを目指す。
- 沖縄県内産業関係者における、本土企業との交流を通じた新たなビジネスチャンスを創造することを目指す。
- 東アジアの中心に位置する地理的優位性や日本一高い出生率など沖縄の持つポテンシャルや内閣府の実施する沖縄振興策（税制等）について、国が主体となって本土企業及び海外企業関係者に知ってもらうために、沖縄県の産業関係者等との意見交換や現地視察等を行う。

事業イメージ・具体例

- これまで4年間実施してきた「沖縄力発見ツアー」のフォローアップ調査を行う。
- フォローアップ調査の結果を踏まえながら、本土企業・海外企業から参加者を募り、沖縄県内を視察するツアー等を実施する。

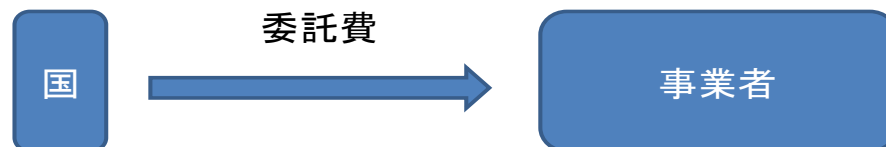


沖縄力発見ツアーの様子



沖縄力発見ツアーで挨拶をする酒井大臣政務官（当時）

資金の流れ



期待される効果

- 本土企業や海外企業の沖縄への投資・進出により、沖縄県の産業振興や雇用創出等、県民生活の豊かさ向上への寄与。
- 税制をはじめとする沖縄振興策への理解促進。

【内閣府の取組】

＜沖縄産業イノベーション創出事業＞

沖縄国際物流拠点活用推進事業

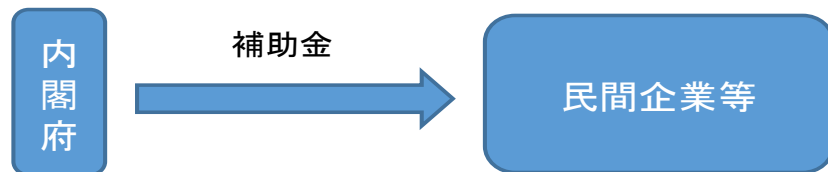
（内閣府政策統括官（沖縄政策担当）付産業振興担当参事官室）

平成29年度概算要求額 **8.2億円**（新規）

事業概要・目的

- 沖縄は、東アジアの中心に位置する圧倒的な「地の利」など、国際物流拠点として高い優位性や潜在力を持っており、現在では、那覇空港の国際貨物取扱量が全国4位、那覇港のコンテナ取扱量が全国8位と順調に推移しています。
- しかし、①ものづくり産業が脆弱であることに起因する沖縄県内からの国内外への搬出量の少なさ②島しょ県という特性に起因する輸送コストの高さといった課題も挙げられています。
- 今後、こうした課題を解決し、沖縄を国際物流拠点として一層活性化していくためには、沖縄をモノの経由地とするだけでなく、同拠点を活用したものづくり事業の創出等、沖縄の特色を生かした産業の育成が不可欠です。
- このため、本事業では、沖縄県内で国際物流拠点を活用した新たなものづくり事業の創出等、先進的な取組を支援することで、沖縄の国際物流拠点の活性化を進めていきます。

資金の流れ

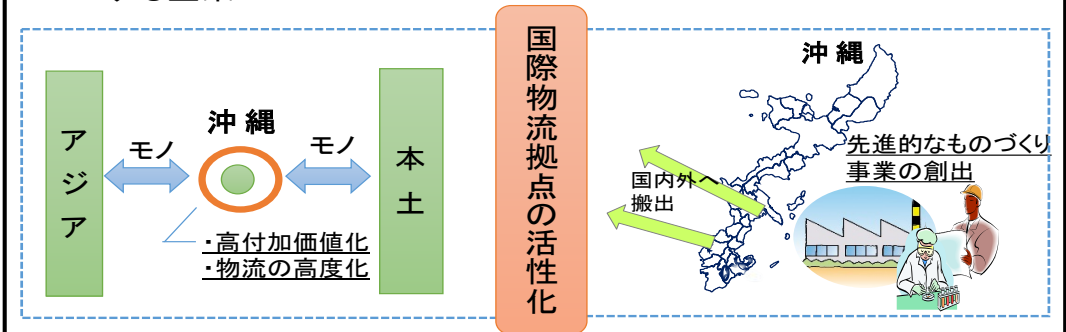


事業イメージ・具体例

- 沖縄県内で、国際物流拠点を活用した先進的かつ沖縄の特色を生かした取組に対して、その整備や商品・技術開発等を総合的に支援します。

（想定例）

- ・ アジアのボリュームゾーンをターゲットとした高付加価値な製品や農水産物の生産、沖縄の恒温性に着目した精密機械の製造等、沖縄の特色を生かした新たなものづくり事業を行い、国内外に搬出する企業
- ・ 従来の物流機能だけではなく、修理・加工等の付加価値を提供する企業



期待される効果

- 国際物流拠点を活用した先進的な取組を支援することで、同拠点の活性化につながります。
- また、国際物流拠点を活用したものづくり産業を支援することで、沖縄県の製造業を育成し、非正規雇用が多い県内の雇用環境の改善を図ります。